

# どんびま

2012年12月13日発行  
発行者 椈の湖農業小学校

## 子どもたちへ

東日本大震災の復興が捗らない中で、13もの政党が乱立する総選挙となった。

争点の一つが「脱原発」である。その論争の中で「生活の(食の)安全」が真剣に考えられているのか見えない。

自給率の低い日本でも輸出する食品はある。それを放射能汚染を理由に輸入禁止している国が15ヶ国あり、

内2ヶ国では被災地とか関東とか云う地域指定で無く日本産全てが禁止である。それ以外に検査証明等の規制をしている国や地域は多数ある。国内では「食べて応援」などという標語にすり替えて安全をアピールしているが、一方で内部被曝の実態が明らかにされ、その対策の不備が指摘されている。

自分の土地に自分の家に住めない人々、耕地が汚染されて作物を作れない農民たち、安全と言われて作っても売れない農産物、大丈夫と言われて住んで食べている内に蓄積されていく放射性物質による内部被曝、これらは被災地だけの問題ではない。

福井県小浜市にある平安時代創建の古刹明通寺の住職中嶋哲演(なかじまつえん)師は、学生時代から広島の実験被害者の支援を続け、小浜市に原発建設の計画がもちあがって以来一貫して放射能の怖さを説いた。原子力行政を問い直す宗教者の会の一員でもある。若き日に、師の高説に理屈としては共感しながら、平和利用の美名と、科学の進歩と安全管理を信じて安心していた自分たちが恥ずかしい気がする。

45年前の全日本フォークジャンボリーの活動のリーダーの一人であった笠木透さんは当時の社会問題であった公害をテーマに「私の子どもたちへ」という歌を作った。

「生きている鳥たちが 生きて飛びまわる空を あなたに残しておいてやれるだろうか 父さんは」「生きている魚たちが 生きて泳ぎまわる川を あなたに……」  
「生きている君たちが 生きて走り回る土を あなたに……」知る人ぞ知るこの歌は、全国各地で歌い継がれてきた。私たちには活動の初期の古い歌であるが、いつも新しい想いをこめて唄う歌でもあった。それが原発事故で、又、今の歌になった。

椈の湖農業小学校へ通い、農を通して、「命を育て、命をいただいて、命をつないでいる」ことを学んだ子どもさんたち。あなたたちに手渡す未来に、大人たちは責任が持てているのか？ 先が思いやられる、気の重い一年でもありました。それでも希望を。

一年間、ありがとうございました。

来年も椈の湖で出逢える事を楽しみにしています。どうぞ、よいお年を。 (草)



## ～とくちゃんの農小レポート～

# 第 19 期卒業式は無事終了

今期も一年間トラブルも無く、無事に卒業式を迎えられ、先生・スタッフを始め関係者一同共に安堵いたしました。

当日は天候にも恵まれて暖かい日となり、例年、遙々飛騨高山市から参加して下さる荒城農小のスタッフの方が、今回初めて軽トラ一杯の雪を運んでくれました。何時もの年は無い事の多い栴の木の花の黄葉が残っており、根元に積んでもらった真っ白な雪が一段と映えていました。

- 1 午前の授業。** ごぼう、里芋、ねぎ、下仁田ねぎ、さつまいも、大根、かぶら、白菜、と落花生の収穫をおこないました。中でも牛蒡掘りは大変な作業で、農小の卒業試験とまで言われていますが、1メートル以上も有る長尺ものを、掘り上げたチームもありました。
- 2 昼食。** ごへいもち、芋もち、杵つきもち、からあげ、おでん、こくしょ、漬け物、甘党向きぜんざい、と農小最終日は収穫祭ということで、盛り沢山の食べ物が用意され、農小今年最後の昼食を腹一杯味わいました。
- 3 紙芝居。** 昼休みを利用して紙芝居を披露しました。これは岐阜県のグリーンツーリズム運動グループが制作した作品で、地産地消をテーマにした話で、食べ物はなるべく近くで採れた物を食べよう、そして大切にしよう、と云う内容のものでした。
- 4 卒業式。** 午後は第 19 期卒業式が行われ、48 名の生徒と父兄が参加しました。
  - \***校長挨拶。** 無事に卒業した生徒におめでとうの言葉と、協力された父兄の労をねぎらい、また文集を読んで感動した事と、来季も是非宜しくと云うお話がありました。
  - \***卒業証書授与。** 農小では第一期より木製の卒業証書で、「たがやしひとなる」と云う当校の思いのこもった、キャッチフレーズが印刷されております。グループの先生から一人ひとりに手渡されました。1年生でも卒業証書がもらえると云う楽しく嬉しいものでした。レジ袋の中には田んぼで採れたお米7合(1260ml)が入っていました。また例年荒城農小からプレゼントされる、飛騨りんごもありました。
  - \***表彰式。** 皆勤賞・バケツ稲と案山子の各コンクールの表彰がありました。皆勤賞は18名で、皆勤賞には大豆、バケツ稲コンクールにはシクラメン、案山子コンクールにはひかりかぶがそれぞれ賞品となりました。
  - \***来賓挨拶。** ご来賓を代表して荒城農小の道上清秋様よりお話がありました。
  - \***生徒代表挨拶。** 1Gの大平慶斗君と2Gの瑞澤慧さん。6年生の二人が、農小での出来事や楽しかった思い出を話しました。もう一人挨拶を依頼していた5G大村怜央君は欠席で、メッセージを事務局が代読しました。
  - \***父兄代表挨拶。** 依頼していた5Gの大村彰久さんが欠席の為、農小での体験・ふれあいと、子どもさんの将来に思いを込めたメッセージがよせられました。
  - \***先生代表挨拶。** 大澤克人先生から一年間の交流についての成果が報告されました。

\***農場長挨拶**。今年度の総括として、野菜やお米の出来具合と取り組みについての反省などが報告されましたが、お米は210キロ取れたと云うことでした。

\***事務連絡**。来年の生徒募集要項が提示され、20期の応募をお願いしました。

\***校旗降納**。5年生と6年生により、毎月揚げられていた校旗を下ろしました。これにて第19期卒業式は終了しました。

5 **持ち帰り**。農場長のアイデアにより、福袋として配られ中身は良く解りませんでした。盛り沢山の収穫物が入っていました。

さつまいも、ヤーコン、里芋、大根、牛蒡、白菜、紅かぶ、ねぎ、下仁田ねぎ、乾燥した落花生などが袋の中身でした。

牛蒡は形はやや不揃いですが、味はとても濃い感じがします。年末のおせち料理のキンピラに絶好です。大根もサラダで食べて見ると甘味が良く解ります。

ヤーコンは皮を剥いたら直ぐに生食が一番です。あとはキンピラが良いです。

ねぎは食べ余ったら土に埋めれば長持ちします。根つきのまま濡れ新聞紙で包めば数日は大丈夫です。

## 課外授業のご案内(物作り体験教室)

19期と20期を結ぶ3カ月間は、課外授業と称して物作り体験教室を開きます。

場所は雪の心配が無い旧福岡町の下野(あぼ兄の家の前)「下野いきいき会館」を予定しております。ただし、12月は会館の都合が悪くて場所を変更します。参加申し込みの際に詳しく連絡いたします。

下記を参考にお申し込みください。

(申し込みは各1週間前までに、TEL&FAX 0573-72-4835 小林銷男まで)

\***12月24日(月)** 藁細工。しめ縄、草履づくり(布草履希望は布を用意下さい)。

場所 見佐島集会場(中津川市下野)参加申し込みの方には詳しく説明します。

\***1月6日(日)** 連凧作り、左義長体験(長靴・防寒着・手袋)。

場所 下野いきいき会館

尚 当日は「下野人形供養の会」主催の「人形供養」が行われます。

10時受付、13時和尚さんによる読経にて供養しますので、捨てられずに残っている人形やぬいぐるみ等ご持参ください。(有料500円~)

金属・ガラス・陶器等は不可です。


\***2月17日(日)** 絞り染め(一人Tシャツ1枚)、からすみ作り、花餅作り。

場所 下野いきいき会館

\***いずれも午前9時~16時位を予定しています。**

\***会費は 1回 生徒・父兄共一人1000円です。(材料代昼食代を含みます。)**

## ～かなちゃんの虫日記～

<sup>ゆき</sup>雪がふって、<sup>いき</sup>一気に<sup>ふゆ</sup>冬っぽくなりましたね 

<sup>わたし</sup>私は <sup>み</sup>ほらまきやマスク、いろんなものを身につけて、<sup>まいにち</sup>毎日  
<sup>さむ</sup>寒さとたたかっています。

ところで、ふしぎに<sup>おも</sup>思うことはありませんか？

「<sup>おと</sup>夏、あんなにたくさんいた<sup>むし</sup>虫はどこへ行ってしまったの?!

<sup>と</sup>外で、すはた<sup>む</sup>むきた<sup>むし</sup>しの虫はきっとも<sup>さむ</sup>寒いはず...  
ですが、<sup>め</sup>目につまにくいところでひっそり生きてます。

たとえば「アメンボ」。成<sup>せい</sup>虫で<sup>ふゆ</sup>冬をこす<sup>しゅるい</sup>種類が<sup>おほ</sup>多いです。

<sup>いけ</sup>池の<sup>きし</sup>岸につもた<sup>お</sup>落ち<sup>は</sup>葉もめくり、<sup>うら</sup>ほっほの裏にくっついて

いるのを見たことがあります。<sup>はる</sup>春あたたかくなるまで、

<sup>すいめん</sup>水面ではないところでじっとすごします。<sup>ふゆ</sup>冬は工サとなる  
<sup>むし</sup>虫も<sup>すく</sup>少ないし、<sup>こぼ</sup>氷がはたら<sup>う</sup>浮けないですもんね。

スケートするアメンボがいたら<sup>いい</sup>良いですね!

おまけ

<sup>ふゆ</sup>冬にアメンボに<sup>であ</sup>出会うことはなかなか<sup>むずが</sup>難しいです。

でも、<sup>なごや</sup>名古屋の<sup>どうろ</sup>道路には

1年中アメンボが

ありますよ☆



<sup>ある</sup>歩くときぜひ  
<sup>ちやうど</sup>注目してみてください  
くたさいね!